

「我が国は17世紀の半ば以降、鎖国政策を行い、日本人の海外渡航、外国人の日本滞在が禁止されましたが、貴国の商館は長崎の出島に移され、貴国の人々はそこに滞在することが認められました。したがって我が国が19世紀半ば鎖国政策をやめて開国するまで、長崎は貴国を通して欧州へ開かれた我が国唯一の窓でありました」

2014年10月29日の宮中晩餐会で、今上天皇はオランダのウィ

レム・アレキサンダ

ー国王とマキシマ王

妃に語り掛けまし

た。国王も、松尾芭

蕉が1679年に詠んだ「阿蘭陀

も花に来にけり 馬に鞍くま〓オラ

ンダ商館の一行も桜の花を見にや

つてきた。さあ馬の背に鞍くまを置け」

を紹介し、「日本が長らく、小さ

なオランダという窓を通して、西

洋を眺めていたことを思うとき、

私は深い感慨を覚えます」と返礼

の挨拶を述べます。

而して、「我々は祖先の残した

美しい遺産と苦しみの遺産のその

何れをも引き継いでいます。第二

連載  
第9回

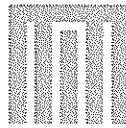
ささやかだけど、  
たしかなこと。

田中康夫

You are the Hope for Tomorrow.

「慰安婦問題」の深層

「歴史の光と影」を共に抱いて歩む



次世界大戦で我が国の民間人や兵士が体験したことを我々は忘れません。忘れることはできません。戦争の傷跡は、今なお、多くの人々の人生に影を落としており、犠牲者の悲しみは今も続いています。捕えられ、労働を強いられ、誇りを傷つけられた記憶が、多くの人々の生活に傷跡を残しました」と続けました。

それに先立ち今上天皇も、「何度か計画され、その都度国内の反対で取りやめとなったものが遂に実現を見たもので、私どもにとり、忘れ得ぬ御訪問となりました」と1991年にベアトリックス女王と共に国賓として、当時は皇太子の現国王が来日した想い出を語り、「9年後の2000年には貴国の御招待を受け、私どもがオランダを訪問：：に当たり、女王陛下は幾度か貴国の戦争犠牲者と話し合われ、行事はその人々の了解のもと行われました。この時の女王陛下の御努力に、今も深く感謝しております」と語っています。

